

令和3年度地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告

事業名	①「戦国・琵琶湖」体験・体感ツーリズム深化プロジェクト(推進交付金) 【令和3年度終了事業】					
所管課	観光物産課					
交付金額	1,500,000円 (対象事業実績費:1,500,000円)					
重要評価指標(KPI)	KPI① 戦国にまつわる観光施設の観光入込客数(万人) KPI② 観光消費額(億円) KPI③ 延べ宿泊者数(万人)					
	KPI	事業開始前	R1 目標値 (実績値)	R2 目標値 (実績値)	R3 実績値	最終目標値 (R3)
	①	171	173.03 (180.00)	175.03 (93.0)	滋賀県及び9市町との広域連携事業のため、県において測定	176.03
	②	1,793	1,870 (2,039)	1,910 (1,328)		1,955
③	387	410 (408.15)	420 (248)	435		
計画	【織田信長に纏わる歴史を知るツアー造成】 ・モニターツアー造成及び広告宣伝					
実績	<p>【織田信長に纏わる歴史を知るツアー造成】</p> <p>1 観光資源ブランド化推進事業 委託料 3,000,000円(率1/2 1,500,000円)</p> <p>(1) 東近江の歴史や文化をテーマとしたサイクリングルートの造成とサイクリングツアーの実施 コロナ禍で旅行形態が変わる中、滋賀県の観光テーマの一つである「ピワイチ」「ピワイチ・プラス」を視野に、新たな観光ツールとして「自転車」を活用したサイクリングルートの造成及びサイクリングツアー「ガイドとまわるぐるっと東近江サイクリングツアー」を実施した。 ツアーにはテーマごとに語り部を依頼し、自転車で巡ることの爽快感と達成感を味わうだけでなく、人々の暮らしや歴史を深く学ぶツアーとなった。 8ルートを作成し、うち5ツアーを実施。19人が参加した。</p> <p>(2) 近江の名城をテーマとした宿泊バスツアーの企画 中世の近江に君臨した佐々木六角氏と佐々木京極氏をテーマに、その本城であった観音寺城・上平寺城を探访する宿泊バスツアーを作成した。 令和3年3月5、6日に実施予定であったが積雪のため中止した。</p> <p>(3) 東近江市の古城を紹介する冊子「東近江市お城図鑑」の編集制作 A4版16頁カラー印刷 5,000部 ツアーの解説資料として活用したほか、お城EXPOや旅行会社向け商談会、希望する市民、来訪者に配付した。</p> <p>(4) 徒歩で城址めぐり『東近江トレイル』 東近江トレイルへの誘客及び周遊の仕組みづくりに向けた連携、調査研究を行った。</p>					
今後の方針	普段からサイクリングを楽しんでいる層はもちろん、普段自転車に乗らない層に対しても、アクティビティとしての爽快感を味わいながら、本市の魅力を体感していただけるサイクリングの提案を行っていく。また、制作した「お城図鑑」は、お城EXPOや観光キャンペーンなどの機会を有効に活用しながら全国のお城ファンに積極的な情報発信を行い、本市への誘客につなげていく。					



※KPIの目標値は、交付申請時の数値です。

令和3年度地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告

事業名	②里山をいかした子育て環境づくり、人づくり事業(推進交付金) 【令和3年度新規事業】					
所管課	森と水政策課里山活用推進室					
交付金額	686,000円 (対象事業実績費: 686,000円)					
重要評価 指標(KPI)	KPI① 市内在園5歳児園児数に対する里山保育実施割合(%) KPI② 市内全園(27園)に対する里山保育の1園当たり年間平均実施回数(回) KPI③ 市民団体「東近江さとやま Nannies」の参加者数(人) KPI④ 保育士等を目指す者のうち、里山保育等自然をいかした保育に関心を示す者の人数(人)					
	KPI	事業開始前	R3 目標値 (実績値)	R4 目標値	R5 目標値	最終目標値 (R6)
	①	27.00	30.00 (30.84)	40.00	50.00	60.00
	②	1.07	1.11 (1.26)	2.37	2.96	3.37
	③	18.00	20.00 (23.00)	25.00	30.00	35.00
④	0.00	2.00 (14.00)	12.00	22.00	32.00	
計画	<p>【里山保育実施業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民団体「東近江さとやま Nannies」において、9園を対象に計 20 回以上の里山保育を市職員とともに実施</li> <li>・2名の指導者を育成</li> </ul> <p>【自然環境調査業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山保育の活動現場2箇所について植物を対象とした自然環境調査を実施</li> <li>・モデルケースとして、調査の方法や市民参画の在り方及び活用可能資源の抽出方法について検討</li> </ul>					
実績	<p>※本交付金の交付決定は、令和3年8月20日付でなされ、本事業に係る業務委託は同年9月1日より開始しているため、令和3年度の実績は9月1日以降の事業を対象としている。</p> <p>1 里山保育実施業務 委託料 1,283,000円 (率 1/2 641,000円)</p> <p>(1) 本事業推進の上で核となる里山保育の課題 里山保育は、認定こども園等の5歳児を園の周辺の里山や水路などの自然に複数回連れて行き、体験を通じて身近な自然の楽しさを知ってもらう事業であり、平成27年度に1園から始め、徐々に実施園を増やしてきた。本事業開始前の令和2年度は、里山活用推進室の職員2名で7園を対象に実施してきたが、2名ではさらなる事業拡大の上で限界が見えており、地域の自然をいかして幼児に自然体験活動を提供できる人材の確保と育成が大きな課題であった。</p> <p>(2) 交付金を活用した市民団体との協働 本交付金を活用し、幼児への自然体験活動に関心のあるメンバーが集まって結成された市民団体「東近江さとやま Nannies (ナニーズ)」に、里山保育の実施と指導者の育成を業務委託することで、里山保育の継続と拡大に一步踏み出すことができた。</p>					



↑ 里山保育を実施する東近江さとやま Nannies

これにより、令和3年度は、前年度より2園増やして9園を対象とし、本市の在園5歳児1,015人のうち、313人(30.84%)に対して里山保育を実施することで、KPI①の目標値を上回った。また、KPI②についても34回の里山保育を実施し、目標値を上回る1.26回/園を達成した。

里山保育の実施を担う東近江さとやまNanniesの参加者数(会員数)については、KPI③で目標2名の増員を目指した中で、こうした活動に子育て中の女性が高い関心を寄せたことで、目標を上回る5名の参加があり、23名で活動を行うことができた。34回実施した里山保育に対して、同団体から延べ61人の参加があったが、里山保育は実施当日だけでなく事前・事後の作業も重要であり、事前の下見に延べ44人、プログラム作成に延べ34人、事後の通信作成に延べ28人が参加するなど、市職員2名で実施していたことに対してかなりの広がりが見られた。



↑ 下見を行う東近江さとやまNannies

重要なことは、業務の委託に際して、市が市民団体にすべて業務をまかせるのではなく、里山保育の理念や指導状況を現場で知ってもらうために、基本的に市が主体となって指導を行いながら、本市独自の里山保育のスキルを市民団体に伝える仕組みで実施したことである。

市民団体のメンバーは、子どもとの関わりに高い関心はあっても、自然をいかした指導経験はほぼ無いと言ってもよく、そうしたメンバーが、里山保育に関わることで身近な自然とその活用方法を学ぶことは、本市の大きな資源である自然環境の保全と活用を实践する市民を増やすことに直結すると言える。これらによって、令和3年度は、市民団体の中から2名の指導者を育成することができた。

なお、令和3年度に里山保育を実施した9園のうち、公立園7園の保護者に対して、里山保育全回終了後にアンケートをとったところ、配布数244人に対して188枚の回答があった(回答率77.0%)。主な項目の回答を紹介すると、「里山保育を体験したことで子どもに何か変化があったか?」という問いに152人(80.9%)が「変化があった」と答え、「里山保育は今後も継続すべきか?」とい問いに182人(96.8%)が「継続すべき」と回答するなど、保護者からも非常に好評価であった。自由記述に記載された例をいくつか紹介する。

※自然の中で生き物や植物に触れ合う機会は、親がそういう場に興味や関心がないと難しく、そのような場面も限られてきてしまいますが、園の友達と体験した里山保育は、いつまでも思い出として残り、自然の大切さを大人になった時に改めて感じられると思います。

※近くにあるけれど中々訪れることのない場所に行き、目で見て感じる機会はとても大切であり、学びあることだと思います。自然の中で遊ぶということが減っている今の時代ならではの事業で、今後も継続していただきたいです。

※ただの(屋外での)保育ではなく、多くの学びを得ることができる体験が、子ども達にとっても大切だと思います。東近江市の里山保育は、友達、先生、地域の人、自然という中に大事な学びがいっぱい詰まっております、ここでしかできないこと、学べないことがあると思います。

### (3) 政策間連携の成果

KPI④は、「保育士等を目指す者のうち、里山保育等自然をいかした保育に関心を示す者の人数」であるが、これは本事業が、①身近な自然の価値を伝えたい環境政策、②幼児に自然体験活動の機会を増やしたい幼児政策、③自然をいかした魅力ある子育て環境を作ることで流出人口の抑制や移住者の増加をはかりたい総合政策を結び付けるものであり、いずれも各部署単独でできることが限られていたことを、里山保育というツールを使って広げていくことができるという視点で捉えたものである。

ひとつの手法として、市内で保育士等を育成する大学の学生に里山保育への参加を呼びかけたが、コロナ禍ということもあって、この参加は1名のみであった。

一方、幼児政策との連携により、主に保育士を目指す学生向けに開催される「保育の仕事就職フェア」において、本市独自の里山保育について紹介するブースを設け、実際に里山保育

を体験した保育士がブースの解説を行い、参加者に関心度合いなどについてアンケートを行ったところ、「里山保育に興味をもちましたか」との問いに参加者19名のうち13名が「興味をもった」と回答し、保育士の獲得が課題となる中で、里山保育を通じて本市の保育環境をアピールできたことは、幼児政策サイドにとっても意義があったと言える。

KPI④については、参加学生1名と上記「興味をもった」と回答した13名を加えた14名を計上したもので、目標値を大きく上回ることができた。

## 2 自然環境調査業務

委託料 90,000円（率1/2 45,000円）

### (1) 調査のねらい

身近な自然にも「ふれるだけの価値がある」ということを知ってもらうため、里山保育の実施場所において、一般的な自然環境調査とは異なる次の2点に留意した調査を行った。

ひとつは、子どもたちが楽しめる植物がどれほどあるかという視点で調査を行うということで、もうひとつは、調査を専門家等に任せるのではなく、調査者が、調査場所の自然環境をいかそうとする市民を巻き込みながら調査を行うというものである。

令和3年度は、里山保育実施中の園のうち2箇所を対象にモデル調査的に実施し、調査の方法や市民参画のあり方及び調査結果から活用可能資源をどのように抽出するかを検討した。

### (2) 調査結果

そのら鳥こども園の活動場所のひとつである猪子山と愛東あいあい幼稚園の活動場所のひとつである経田川沿いの2箇所を対象として調査を行った。

その結果、猪子山では種子植物が181種、シダ植物が30種、コケ・地衣・菌類が6種、その他動物が4種の合計221種が確認され、うち15種類を子どもたちが楽しめる活用可能資源として抽出した。経田川沿いでは、種子植物が142種、シダ植物が2種、地衣類が1種の合計145種が確認され、こちらも15種類を子どもたちが楽しめる活用可能資源として抽出した。

### (3) 調査の意義

調査に際しては、地元の植物に詳しい者が本調査のねらいに合致した調査を行うため、新たに「東近江里山自然リサーチ」という団体を設立し、そのメンバーに里山保育実施受託者である東近江さとやまNanniesのメンバーも加わり、専門家＋市民で調査を行う体制が作られた。一般的な調査が専門家だけで完結してしまうことに比べ、本調査は植物に詳しくない市民が子ども目線で調査に加わることで、自らの知識の蓄えに加えて、子どもたちが楽しめる植物がどれほどあるかという視点で調査を行うことにも寄与できた。



↑ 調査を行う東近江里山自然リサーチ

こうした体制を組んだことで、「子どもたちが楽しめる活用可能資源」としてそれぞれの調査地で15種類を抽出できたことは、次年度以降の調査の方向性を確立し、調査結果の活用方向に道筋をつけることに寄与したと言える。

## 今後の方針

令和3年度は、すべてのKPIにおいて目標を達成することができたため、引き続き計画に基づき事業を拡大して進める方針である。

令和4年度は、本事業2年目として、里山保育実施園を3園増やして12園で実施予定であり、引き続き指導者の育成を行う。自然環境調査については、7箇所を調査対象地として行う予定である。また新たに、里山保育を軸にした本市のブランディングについて検討を行う。

※KPIの目標値は、交付申請時の数値です。

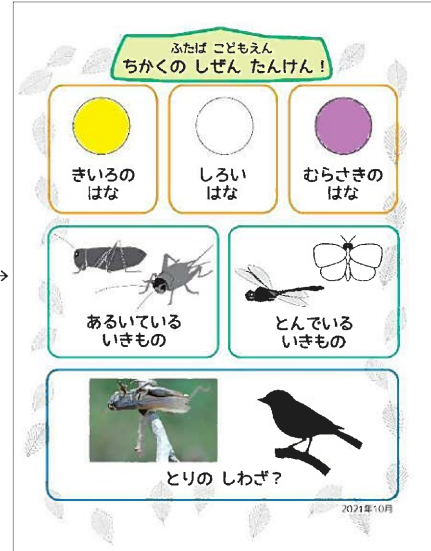
# ふたばこども園5歳児クラス 里山保育通信 Vol.2

作成: 東近江市里山活用推進室

日 時：2021年10月15日（金） 9:20～10:20 / 10:30～11:30 晴  
 対 象：ほし組17人、にじ組19人、先生5人 ナニーズ  
 実 施：里山活用推進室（丸橋裕一、垣見直希）、東近江さとやまNannies4人

## 秋のあぜ道をじっくり探検！

今年2回目の里山保育も前半ほし組、後半にじ組の2回に分けて、稲刈りも終わり秋も深まってきたあぜ道を探検！  
 前回の5月から5ヶ月余りが経っていますが、田んぼはどんなふうに変ったかな？  
 今回も、探検カードをもって探検に出発！！



→ 今回の探検カード。前は「地面のいきもの」でしたが、今回は「歩いている」「飛んでいる」など色々あります。「鳥の仕業」は難しいけど、見つかるかな？



↑ 最初に、屋内で今日の探検のお話。「エンマコオロギの顔は閻魔大王に似ているよ」「モズという鳥はご飯を枝に刺して、冬に食べるよ」など生き物の話と探検のポイントや注意点をお話しました。

→ 探検カードをもらって、あぜ道に移動したら探検スタート！→ 暖かいと生き物もたくさん出てくるので、絶好の探検日和！！



← 「黄色い花を見つけた！！」早速、発見がありました！これは、アメリカセンダングサという草で、ひっつき虫の仲間です。

→ 「テントウムシかわいい」草の中で小さなテントウムシを発見！！



園から出てすぐ！田んぼに着いたら探検スタート！



↑「ここに、花がある！」  
葉っぱの下で咲いている小さな花を発見しました。  
何気なくとおり過ぎてしまいそうな場所でも、  
じっくり探すといろいろなものが見つかります！！



↑「バッタをつかまえた！！」  
探検前のお話で「バッタの顔が仮面ライダー1号の顔に似ている」という話をしたので、つかまえた後に顔の観察をしていました。どんな顔だったかな？



↑「あれ？どこに逃げた？」  
逃げたバッタを必死に探します。  
子どもの活動を撮影をしているのは、里山保育を一緒に  
実施している東近江さとやまNanniesのメンバーです。



↑こちらもバッタを発見しました。  
探検カードの「いきもの」は見つけるだけでも  
シールを貼って良いと伝えていますが、  
やはり、つかみたくなるものです。



↑探検カードにある「鳥の仕業」を発見！！  
「モズのはやにえ」のことです。初めて見た人もいたようで  
「うわあ！刺さっている！！」と驚いている人もいました。  
スタッフも「あの辺りを見てみたら？」と発見のヒントを  
出すことで探検をサポートしています。



↑「はやにえが見つからへん...」「あそこにあるで！」  
最初は、なかなか見つけれませんが、でも、眼が慣れて  
見つかりだすと「バッタ！」「こっちはコオロギ！」と  
いろいろな種類の「はやにえ」が見つかりました。

## いきものもたくさん見つけた！



↑「バッタつかまえた！！」  
暖かく、風も弱かったので、たくさん生き物を見たりつかまえたりすることができました！！



↑黄色いチョウを発見！  
本やテレビで見ると違い、本物を観察することも貴重な経験です。見た目や大きさだけでなく、鱗粉という粉が手についたり、「感触」「におい」「重さ」などいろいろなことが分かります。



↑「つかまえた？持たせて？」「いいよ！！」  
誰かが発見をして、その発見したものを友だち同士で観察することで、新たな気づきや発見につながっていきます。



↑こちらにもバッタを発見しました。  
これは、ショウリョウバッタというバッタです。春には小さかったショウリョウバッタも秋になると大きくなっています。  
このように、生き物が季節の移り変わりに伴って、変化していることを知ることも大切な体験です。



↑「大きいカエルをつかまえた！」  
これは、ナゴヤダルマガエルという本州で最も少ないカエルの一つです。  
トノサマガエルに似ていますが、トノサマガエルより足が短いため、ジャンプが苦手です…



↑ショウリョウバッタより太いバッタを捕まえました！  
トノサマバッタかな？  
この日は、オスとメスが結婚している様子も見ることができました。

## いろいろな自然物に興味津々！



←「あっ！  
くっついた！」  
アメリカセンダ  
ングサの花は服  
につくので投げ  
て遊びました。  
特別なものがな  
くても、自然物  
で楽しい遊びが  
始まります！！

→  
水路に落ちていた  
バッタを枝で助け  
てあげました。  
里山保育では  
「いのちを大切に  
してね」と伝えて  
いるので、みんな  
生き物のいのちを  
大切にします。



←「カマキリ見つけた！！」  
これは、チョウセンカマキリというカマキリです。  
ちょうど、バッタをつかまえたところだったので興味津々です！



←↑今回は、里山保育と一緒に実施している東近江さやま  
Nannies4人と楽しく探検をすることができました！  
里山保育は、2回だけだったけど、いろいろな発見が  
あったね。



→  
保護者のみなさんは既にご存じだったと思いますが、  
こども園に「里山保育コーナー」を作っていただいております。  
びっくりしました。里山活用推進室が実施するのは年間2回  
ですが、園の中で継続して興味を持てるような取組を  
実施していただけることは、嬉しく思います。



里山保育は、「みんなの身近にある自然の中にも、楽しいことや不思議なこと、驚くようなことがたくさんあるよ。」ということ子どもたちに知ってほしいとの思いで実施しています。わずか2回の活動でしたが、よく歩いているいつもの散歩ルートをし、少し違った視点でじっくり探検する中で、子どもたちは様々な発見をしてくれたと思います。

そして、この活動を友だちと一緒にすることで、お互いの発見や驚きに刺激されたり、共感したりしながら、自分なりの価値観を育てていきます。難しく表現すると、子どもたちは知らず知らずのうちに、「自分はこう思うけど、他の人は別の考えなんだな。人には多様な価値観や考え方があるんだな。」ということに気付いていくことにつながります。

身近な自然の中で行うこうした活動が、子どもどうしの関わりを豊かにすることで、子どもたちの成長に寄与することを願っています。



# ちどり幼稚園5歳児クラス 里山保育通信 Vol.4

作成:東近江市里山活用推進室

日 時：2022年2月14日（月）9:00～13:25 曇のち晴  
 対 象：ひまわり組31人、先生5人  
 実 施：里山活用推進室（丸橋裕一、垣見直希）、東近江さとやまNannies3人  
 サポート：保育参加3人、おひさまサークル1人

ナニース

## 里山保育最終回は、いよいよ猪子山登山！

4月に伊庭内湖周辺の探検からスタートしたちどり幼稚園の里山保育も今回で、いよいよ最終回！ついに、猪子山の頂上(標高約267m)まで登ります。今回の探検は、頂上から降りながら実施しますが、まず、みんなで山頂を目指して頑張ろう！！



↑ 最初に探検のお話。「猪子山ではマメツタが岩にへばりついているよ」など探検のポイントや山登りの注意点についてお話をしました。



↑ 「行ってきまーす！」お見送りに手を振って元気に探検に出発です！

→ 今回の探検カード！  
 山の上からの景色はどんなものだろう!?  
 冬の山を楽しもう！



↑ 猪子山に到着！さすが5歳児さん！しっかりした足取りで約1.8kmの道のりを40分かけて歩きました。



← いよいよ登山開始です！みんな、自分のペースで進みます。急な坂道もぐんぐん登ろう！

→ ツチグリというキノコを発見！指でつつくと、胞子がぶわっと煙のように吹き出します。



# 山の頂上目指して歩きます！



↑「あ！あんなところに！」登山途中でも声をかけあって、みんなで新しい発見を分かち合います。



↑「何か生き物があるかな？」友達と一緒に貯水池を観察しています。



↑ さあ、あともう少し！この急な階段を登りきったらいよいよ頂上です！登っていると暑くなってくるので、自分で上着のチャックを開けて体温調整をします。



↑「やったー！着いたー！」ついに頂上に到着です！みんなの足取りが一気に軽くなります。



↑ 頂上からは琵琶湖や対岸の山並みまで見渡せます。

↑ 自分たちの住む町並みを眺めます。建物も車もとても小さく見えるね！吹き抜ける風がさもちいいです。

←「幼稚園はどこかな？」  
「あんなに遠くからずーっと歩いてここまで来たんだね！」  
自分の足で歩いてここまでたどり着いたという体験が、子どもたちの心の中で自信の芽となって育っていきますように！

→ 「にんにん！」  
みんなそろって忍者のポーズ！  
忍者のように頂上まで登ったね！



# さあ、探検をはじめよう！



← ゆっくり下りながら探検をします。「山の上からの景色」は着いた時にじっくりと見たので、探検カードをもらおうと早速シールを貼ります！



← ↑ 反対側の五箇荘方面の景色も見ました。「遠くに見える鈴鹿の山からみんなの住む町を通過して琵琶湖へと水が流れていくんだよ。ずっとつながっているね」というお話を聞きました。



→ 登るのは大変だった階段も下りは楽々！

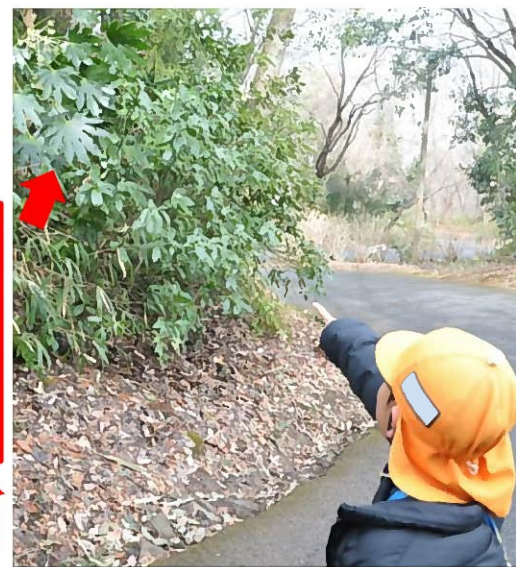
← 「ほら！そっと持ったら痛くないよ！」発見したクリのイガを持ってみます。イガの中の実を見つけた人は宝物のように大切にしていました。



↑ 「静かにしないと聞こえないよ」「しーっ！」「あ！聞こえた！」探検カードにある鳥の鳴き声を聞くために耳を澄ませます。



↑ 「顔はどこ？」「あった！」「目、目、鼻や！」顔のように見える小さなかわいい冬芽を発見！



↑ 「あ！見つけた！」探検カードにある「天狗のうちわ」を発見！これはヤツデという木の葉っぱです。ちょうど、花も見ることができました。

## 冬の山で見つけたよ！



↑「見て見て、  
きれいでしょ？」  
リュウノヒゲの実を  
見つけました。  
葉に隠れて見つけ  
にくいのですが、  
見事に発見！



↑「おいしい！」宝石みたいに  
輝く赤いフユイチゴの実を発見！  
こうして五感で感じられる体験も  
宝物です！



↑ 前回秘密の手紙を書いたレッドロビンの葉に  
落ちていた小枝をペンにして手紙を書いていた。  
自分で考えて工夫してみるって楽しいね！



→  
落ちていたモミジの  
枝に、たくさんの  
小さなタネが付いて  
いるのを発見！  
振ってみると  
プロペラみたいな  
タネがクルクル  
たくさん飛びました！

←  
「あっ!! 忍者!!」  
子どもたちの目の  
前に忍者が現れて、  
巻物を残して  
走り去って  
いきました!!

→  
幼稚園に到着！  
最後まで歩き  
きたね！赤い矢印  
がさっきまでの  
山頂です！今回は  
里山保育を一緒に  
実施している東近江  
Nanniesから3人  
同行しました。



ひまわり組さんの里山保育は今日でしまいい。  
伊庭内湖の周辺や猪子山でたくさんの発見ができて楽しかったね。  
自然のことを知りたければ、図鑑やネットでも知ることができるけど、  
「楽しかった！」という体験は、図鑑等では味わえないね。  
里山保育の思い出は、大人になってもずっと持っていて欲しいなと思います！

### ■ひまわり組 保護者のみなさま

1年間、無事に里山保育を実施できたのも、保護者の方のご理解とご協力があったからこそです。  
最後にあらためてお礼申し上げます。

季節が変わっていきながら、身近な自然で繰り返し探検をしたことで、自然の見方や楽しみ方、いのちの  
大切さなどが、少しでも子どもたちに伝わっていただければ幸いです。

テーマパークや動物園でもない近所の里山での活動が、楽しかった思い出として子どもたちの記憶に残り、  
この子たちが大人になった時に、少しでもそれを思い出してくれるならば、私たちもとても嬉しいです。